

アフリカ豚コレラ、口蹄疫の予防のための豚農場一斉清掃・消毒キャンペーン実施 -8月28日(水)全国養豚農家対象官民合同一斉消毒・点検、広報の実施-

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbfWFmcmEIMkY2OCUyRjM yMTE5MSUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJTI2cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU 2VxJTNEJTI2cGFzc3dvcmQIM0QIMjZzcmNoQ29sdW1uJTNEJTI2cGFnZSUzRDEIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCU yNnJvdjUzRDEwJTI2aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJTI2c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

《主な内容》

(推進の背景)夏季休暇の海外訪問などによる汚染源の農場侵入防止のための官民合同一斉清掃・消毒キャンペーン実施

- (消毒日時)2019年8月28日(水)
- (消毒対象)全国すべての養豚農場(6,300戸)
- (消毒方法)農協共同防除のみならず、自治体保有消毒車両、農家保有装備などを総動員して農場内外を集中消毒し、防疫上の注意*広報
- *豚農家への洗浄・消毒、正しい口蹄疫ワクチン接種要領等の広報
- (農場広報)検査本部、自治体、農協、ハンドン協会は、すべての養豚農場を対象に一斉清掃・消毒するように広報
- *ハンドン協会は全国支部を介して所属会員に積極的な消毒・洗浄促す
- (農場点検)養豚農場担当官(郡・検査本部・防疫本部)が消毒状況、口蹄疫ワクチン接種するかどうかなどを確認

□ 農林畜産食品部(長官:イゲホ、以下農食品部)は、アフリカ豚コレラ(ASF)、口蹄疫の予防のために、8月28日(水)、「全国養豚農場を対象に官民合同で一斉清掃・消毒キャンペーンを実施する。

*農食品部(検査本部)・自治体・防疫支援本部、農協、ハンドン協会

○ 今回のキャンペーンは、夏季休暇期間中、養豚関係者の海外訪問によりウイルスなど汚染源が農場内侵入することを遮断する必要がある、推進される。

□ 農食品部はこの日、全国の食品残渣給与農場(227戸、7月1日時点)と口蹄疫ワクチン抗体陽性率不十分農場(334戸、2019年1月~6月)、密集飼育団地内の農場などについて農協共同防除のみならず、市郡消毒車などのリソースを総動員して消毒を実施する計画である。

○ また、共同防疫車に設置されたスピーカーなどを活用して、不法畜産物持ち込み禁止、口蹄疫ワクチン接種などの防疫上の注意について広報し、ハンドン協会は中央および支部を介して会員農場に一斉消毒・洗浄参加を積極的に奨励する。

*文字メッセージ送信サービス(SMS)、ハンドン協会などを通じて農家の自発的で積極的な参加を奨励

《防疫上の注意》

- 1) 農場出入口及び物品搬入倉庫など(飼料・薬品倉庫、冷蔵庫、工具整理箱など)農場内外部の整理、整頓、清掃を通じた農場清潔作業の実施
- 2) 農場の内部豚舎で徹底的に洗浄・消毒を実施
- 3) 防疫脆弱区間事前除去
- 4) 家畜糞尿処理施設周辺の掃除や整理整頓などを徹底的に実施
- 5) 発生国訪問を自制して不法な畜産物搬入と食品残渣給与を禁止
- 6) 野生イノシシの侵入防止のためのフェンスなどの施設を設置
- 7) 適切なワクチン接種および管理要領に基づいてすべての豚にもれなく接種
- 8) 異常を示す豚がある場合防疫機関に直ちに報告する

□ これと共に、農食品部は、今回の消毒キャンペーンの履行されるかどうかを確認するために養豚農場、アフリカ豚コレラ官*を動員して農場の消毒状況と口蹄疫ワクチン接種するかどうかなど防疫実態を一斉点検する計画だ。

*農場ごとに指定された農食品部(検疫本部)、自治体、防疫支援本部で構成された担当官

□ 併せて、農食品部は「アフリカ豚コレラ、口蹄疫の流入を防止するため、養豚関係者は、海外発生国訪問を自制し、消毒、不法畜産物持ち込み禁止、口蹄疫ワクチン接種などの防疫上の注意を徹底履行すること」を要請した。